



富屋地区
シンボルマーク

みんなで 仲良くやっぺ ふるさと富屋

103号

2022 (令和4年)
9月発行
広報とみや

みんな いきいき！ 3B体操

富屋地区健康づくり推進連絡協議会では、富屋地区での皆さんの健康づくりのための活動を行っています。令和4年度は、富屋地区市民センターにおいて7月から1月にかけて年6回「3B体操教室」を開催しています。

3B体操は、音楽に合わせてベルやボールを使用して行う体操で、性別・年齢に関係なく誰もが楽しめる体操です。体操を通して体をほぐしたり、筋力をつけたりすることも期待できます。参加者の皆さんからは、「音楽に合わせて運動ができて楽しい」「運動して、体が伸びてスッキリした」と好評です。

コロナ禍ではありますが、感染予防対策を行いながら皆さん元気に活動しています。

※令和4年度は定員に達しましたので、募集は終了しております。



健康づくり推進員の募集を行っております。
ぜひ、一緒に活動してみませんか。
ご興味がある方は、保健福祉グループ
(☎665-3698) へご連絡下さい。

書 道

筆をもって心落ち着く生活



高校時代に書道を選択して以来、遠ざかっていた書道ですが、知人に誘われ、富屋地区市民センターで開催されていた書道講座に参加しました。それから十数年間、書道を楽しんできました。作品は、とみやふるさと祭りや、総合文化センターで行われる展示会に出品し、恥ずかしながら多くの方に見ていただく機会を得ました。

最近では、下金井町集会所の新築に当たり、建造の年月日や、施主・施工業者などを記した棟札むいふだを書いてほしいという話をいただきました。木札に書くのは紙に書くのとは違い緊張しましたが、こんな機会は二度とないだろうと思い、心を込めて書きました。これからも筆を持ち、心落ち着く時間を過ごしたいと思います。

(下金井町自治会 金田 千明)

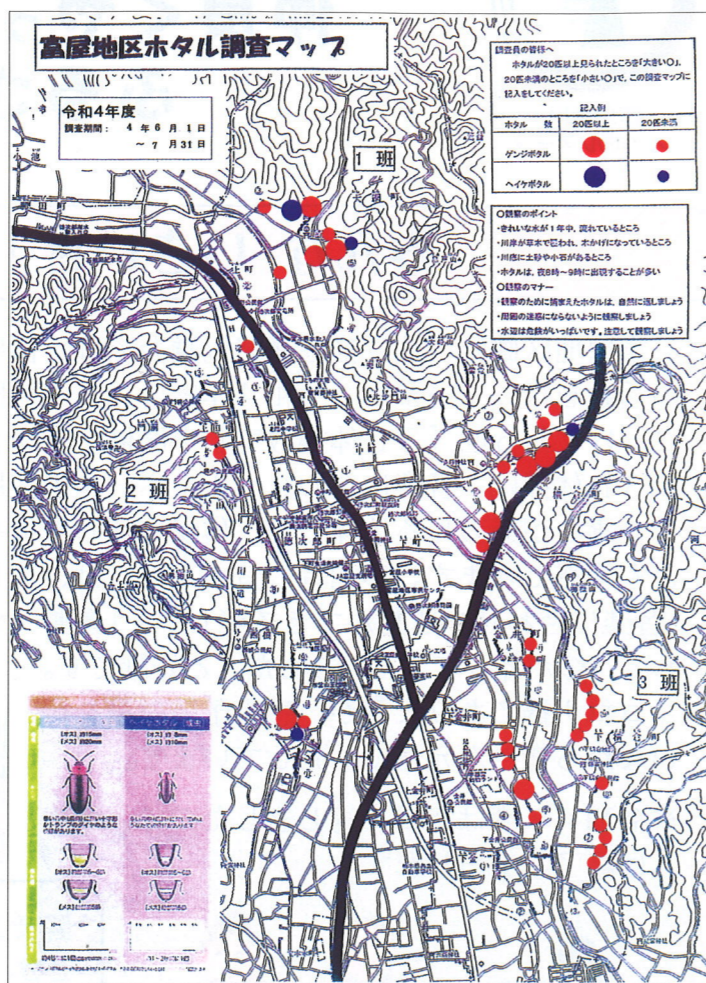
とみやの夏の風物詩「ホタル」



今年も、富屋地区のあちらこちらで夏を彩るホタルを観ることができました。

まちづくり連絡協議会文化活動部会では、毎年6月から7月にかけてホタルの発生状況を調べ、マップにまとめています。マップに示されたように、今年も、大網・田中ホタルの里・西根ホタルの里・下金井・下横倉・上金井・上横倉などで発生を確認することができました。特に、上横倉・大網では、数えきれないほどのホタルが飛び交っていました。ホタルの多くはゲンジボタルですが、ひと回り小さいヘイケボタルも観ることができました。

また、地区内外からも多くの方が訪れ、幻想的なホタルの光にうっとり。時の経つのを忘れてその光景に浸っていました。



金田淳さん、日本PTA全国協議会会長に！

富屋小学校や晃陽中学校のPTA会長として活躍されてきた金田淳さん（下町）が、PTAの全国組織である日本PTA全国協議会の会長に6月21日に就任されました。金田さんに会長就任の抱負を伺いました。



地元である富屋でのPTA活動の経験を生かし、全国の子供達の健全育成に全力を注いで参ります。学校・家庭・地域の連携はとても重要です。みんなで力を合わせ、楽しく子供達を育てていきたいです。

益々のご活躍を祈念いたします。

富屋の自然・歴史・文化財ガイド養成講座

平成27年度から続けて開講されている「富屋の自然・歴史・文化財ガイド養成講座（全5回）」が6月から7月にかけて行われ、地区内外から25名の方が参加しました。宇都宮市文化財調査員の池田貞夫さんをメイン講師とし、第1回「とみやふるさと散策マップ解説」、第2回「智賀都神社本殿の建築物」、第3回現地研修「田川東岸の史跡を訪ねる」、第4回「宇都宮と富屋の城館跡」第5回「富屋の仏像と石仏」と講義と共に現地に出向いての視察も含む充実した講座でした。参加者の皆さんからは、「毎回新しい発見があり、楽しい講座でした。」などの感想が寄せられました。



参加者の皆さん



現地研修 御岳山

富屋に学ぶ子どもたち

○晃陽中学校「晃陽中は生徒が主役！」

校長 加藤 悦宏

晃陽中学校では「(生徒が)来てよかった、(保護者が)行かせてよかった」と思える学校づくりに取り組んでいます。そのため、生徒の声に耳を傾け、生徒が活動の主体となるよう心がけています。

写真は、中学生が出身小学校を訪問して実施する「晃陽地域学校園あいさつ運動」の様子です。今年は生徒会役員に加えて、ボランティア参加者を募集したところ、たくさんの生徒が手を挙げてくれました。

他にも、生徒会執行部が「ユニセフ・ウクライナ支援募金」への協力を呼びかけました。執行部がウクライナの状況や募金するお金がどのように使われるのかを事前に調べてみんなに伝えようと協力をお願いしました。

これからも「生徒がいきいきと活動できる学校」を目指してまいりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。



ふるさと再発見 83

下町薬師堂の六地藏



徳次郎町下町薬師堂の境内に、3体の石仏が並んでいます。このうち向かって左端が、六地藏と呼ばれる石仏です。六地藏は衆生（あらゆる人）が善悪によっておもむく六道の世界（地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上）において、その苦しみを等しく救ってくれる六道救済の仏様と説かれています。このため地蔵信仰は平安時代から盛んになり、江戸時代には庶民の間に深く愛され、浸透してきました。当境内のものは「一石六面幢六地藏」と呼ばれる形式で造られ、石柱6面に6体の像が陽刻されています。

全体の高さは203cm、6面に檀陀地蔵菩薩、宝珠地蔵菩薩、宝印地蔵菩薩などの地蔵が、順番に彫り込まれています。銘文には享保16年（1731）の建造年代と、寄進者である「奉供養十九夜念仏講中」の文字が刻まれています。石仏の材料にはきめの細かい地元産徳次郎石が使われ、また保存状態も良いことから、今も美しい姿で人々を見守っています。（文化財調査員 池田 貞夫）

「富屋地区球技大会」開催

6月26日(日)に、富屋地区球技大会が開催されました。コロナ禍での開催ということもあり、ボウリング・ソフトボール・グランドゴルフの3種目を実施しました。

幅広い年齢層の方々が集い、持てる力を十分に発揮し、和気あいあいと競技が進み、地区のまとまりも一層深まったようです。

結果は次のとおりです。

- 総合優勝 南部
- ♪ 準優勝 北部
- ♪ 第3位 中町



「とみや女性学」開催

富屋生涯学習センター主催による「とみや女性学～地域デビュー応援講座～」が、6月から7月にかけて3回、開催されました。講師の話を受けて、カラーリーフを寄せ植えしたり、ストレッチをしたり、アロマでオリジナル化粧水・乳液を作ったりして充実した時間を過ごしました。



屋台収蔵庫が完成しました！ 田中自治会

田中自治会が市の補助金を受け、今年の正月明けから新築工事に入っていた屋台収蔵庫が3月末に完成しました。間口6m、奥行7m、高さ7.5mの立派な収蔵庫です。

田中自治会長矢田部守さんは、「屋台がすっぽり入り、使いやすい倉庫ができ、屋台組立て時に雨の心配をすることもなくなり安心しました。自治会の皆さんが建設に賛同してくださり、古い倉庫の解体作業を始め様々なことに協力くださったことに感謝の気持ちでいっぱいです。」と話されていました。



収蔵庫に納めた屋台の前で田中自治会の皆さん



富屋地区のデータ
(令和4年8月末現在)
世帯数 1,603世帯
総人口 3,441人
男性 1,636人
女性 1,805人

今後の主な事業計画

- 11月6日(日) とみやふるさとまつり
- 1月8日(日) 二十歳を祝う成人のつどい
- 1月9日(祝) タコあげ大会

編集・発行

富屋地区まちづくり連絡協議会
〒321-2116
宇都宮市徳次郎町80番地2
(富屋地区市民センター内)
☎028-665-0002, 1663